現行

~ 略 ~

(随意契約)

- 第30条の2 政令第167条の2第1項第1号に 規定する規則で定める額は、次のとお りとする。
 - (1) 工事又は製造の請負 <u>1,300,000</u> 円
 - (2) 財産の買入れ 800,000円
 - (3) 物件の借入れ 400,000円
 - (4) 財産の売払い 300,000円
 - (5) (略)
 - (6) 前各号に掲げるもの以外のもの 500,000円

~ 略 ~

(前金払)

- 第47条 契約金額が1件1,300,000円を超える工事(土木建築に関する工事の設計及び調査並びに土木建築に関する機構を計及の用に供することを目的とする機能を開かることを目的といては、当該契約金額の100分の名の40を超えない範囲の額を前金払するとができる。この場合において、契約負別できる。この場合において、契約負別できる。この場合において、契約負別できる。この場合において、契約については、100,000,000円を限度額とすることができる。
- 2 契約金額が1件500,000円を超える委託 (土木建築に関する工事の設計及び調査並びに測量に係る委託に限る。)の 委託契約を行う場合において、契約者 が保証事業会社の前払金保証を有する ものと確認したときは、当該契約金額 の100分の30を超えない範囲の額を前金 払することができる。

 $3 \sim 6$ (略)

~ 略 ~

改正案

~ 略 ~

(随意契約)

- 第30条の2 政令第167条の2第1項第1号に 規定する規則で定める額は、次のとお りとする。
 - (1) 工事又は製造の請負 <u>2,000,000</u> 円
 - (2) 財産の買入れ 1,500,000円
 - (3) 物件の借入れ 800,000円
 - (4) 財産の売払い 500,000円
 - (5) (略)
 - (6) 前各号に掲げるもの以外のもの 1,000,000円

~ 略 ~

(前金払)

- 第47条 契約金額が1件2,000,000円を超 える工事(土木建築に関する工事の 計及び調査並びに土木建築に関する機 事の用に供することを目的とする機 類の制造を除く。)の工事請負契証を 行う場合において、契約者が保証を確 合社の前払金保証を有するものとの 会社の前払金保証を有するものとの ときは、当該契約金額の100分の40 を超えない範囲の額を前金払すると ができる。この場合において、契約負契 約については、100,000,000円を限額 とすることができる。
- 2 契約金額が1件 1,000,000円 を超える委託(土木建築に関する工事の設計及び調査並びに測量に係る委託に限る。)の委託契約を行う場合において、契約者が保証事業会社の前払金保証を有するものと確認したときは、当該契約金額の100分の30を超えない範囲の額を前金払することができる。

 $3 \sim 6$ (略)

~ 略 ~

<u>附 則</u>

この規則は、令和7年4月1日から施行す

る。